

研究機関名：旭川医科大学

| | |
|--------------|---|
| 承認番号 | 20042 |
| 課題名 | 皮膚線維腫の病理組織学的検討 |
| 研究期間 | 倫理委員会承認日 ～ 2022年 9月 30日 |
| 研究の対象 | 旭川医科大学病院もしくは市立稚内病院皮膚科で2001年1月1日から2020年5月31日までの間に病理組織検査を受け、皮膚線維腫と診断された方。 |
| 利用する試料・情報の種類 | <input checked="" type="checkbox"/> 診療情報（詳細：カルテ番号、年齢、性別、部位、罹病期間、自覚症状、臨床診断など） <input checked="" type="checkbox"/> 手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名： 病理組織標本） <input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> その他（ ） |
| 外部への試料・情報提供 | <input checked="" type="checkbox"/> 自施設のみで利用 <input type="checkbox"/> 多施設共同研究グループ内（提供先：）（提供方法：） <input type="checkbox"/> その他（提供先： ）（提供方法： ） |
| 研究組織 | 「研究代表機関」 旭川医科大学皮膚科 「既存試料・情報の提供のみを行う機関」 市立稚内病院皮膚科 加藤 直樹 |
| 研究の意義、目的 | 皮膚腫瘍の病理組織診断は典型的な病理像を示す症例では診断は容易ですが、非典型的な場合は診断に困難をきたし、患者さんへの結果の説明に時間を要したり、追加検査をして診断費用が高くなったりすることがあります。この研究では皮膚線維腫の患者さんの病理組織像が非典型的である場合がどれくらいの頻度で存在するのか、その場合の特徴はなにか、そのメカニズムは何か、などを明らかにし、将来の患者さんの病理診断を容易にすることが目的です。 |
| 研究の方法 | 過去に切除された腫瘍の診断のために作成された病理組織標本を顕微鏡で観察したり、追加の組織染色を行ったり、診療情報と照らし合わせて、臨床的、 <u>病理組織学的</u> な特徴を明らかにします。 |
| その他 | 当研究には企業からの資金や設備の提供はありません。 |
| お問い合わせ先 | 本研究に関するご質問等がありましたら下記の研究責任者までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 研究責任者： 旭川医科大学皮膚科学講座 教授 山本 明美 旭川市緑が丘東2条1丁目1-1 電話 0166-68-2523 |